



西合志第一小学校 学校だより 第7号 令和7年7月2日

くすのき



約25年前、田中先生が「宇宙人ほい」と、当時担任していた子どもが描いてくれた似顔絵です。



かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに

文責 校長 田中 知博

♪西合志第一小のことが新聞掲載されました♪

↓6月24日(火)熊日新聞掲載記事



服ごとにアフリカの布を選びオリジナルファッションを披露する児童＝17日、合志市

未来の姿 モザイクアートの原画に



将来の夢などをテーマに絵を描く西合志第一小の児童



国連開発計画の職員(左)から、アフリカについての授業を受ける児童

西合志第一小アフリカ学が授業

みんなの夢

ワクワク 万博へ

西合志第一小(合志市)児童が描いた絵を使ったサイエンス展が、大阪・関西万博の国産パビリオンで8月17、24日に開かれる「APRICA WELCOME(アフリカウェルカム)」で披露される。6月1日には国連開発計画(UNDP)の職員が同小を訪れ、4、6年生37人にアフリカについて授業。児童らはモザイクアートの原画を描いた。

モザイクアートは全国の児童から約千枚の絵を集め絵像化するもの。授業は「UNDPアフリカ局・ICADニッポ東京オフィス」が全国の8校の小学校で開き、九州・沖縄ブロックからは、西合志第一小が選ばれた。

授業ではUNDP職員のアフリカ出身「パルター・ジュニア・パルター・ジュニア」が「アフリカの54カ国には多様な宗教や文化があるが、家族や友達など身近な人を大切に思う気持ちには変わりはない」と説明した。

8班に分かれた児童は、多数用意されたアフリカ製の布の中からお気に入りの布を選び、各班の代表者が身に着けて披露。黄土地の布を身に付け、エミラートをイメージしたという4年の吉田愛蓮さんは「エジプトにいる気分」と喜んでいた。

その後、「未来の夢」や「アフリカのまち」など考えた「こと」をテーマにモザイクアートで使う絵を描いた。保育士になった自分の姿を描いた6年の栗原咲妃さんは、「いつも笑顔で、みんなに優しい保育士になりたい」と話した。

(日影 撮影)

「あなた」と「わたし」が笑顔でしあわせになるためにみんなで学び合いました。

6/30(月)に心のきずなを深める集会を開きました。6月を前期の人権月間とし、学級ごとに教材を使った学習をきっかけとして、「自分」や「友だち」「クラス」の「今」や「これまで」を見つめ、「これから」どうしていきたいか真剣に考え、学んだことを全校児童の前で発表しました。

それぞれの学年に応じた素晴らしい内容でした。また、他学年の発表を聞いて、「わたしにも同じところがある」「わたしたちのクラスも同じだ」「自分のことをもっと知って欲しい」「友だちのことをもっと知りたい」などたくさんの感想を伝え合う素敵な時間になりました。これからの大事です。



心のきずなを深める集会

【校長から】「こんな人になって欲しい」

- ① いじめや差別をしない、許さない人
- ② 言葉を大切にする人
- ③ 誰かの「友だち」「なかま」になる人

6月28日(金)

熊日新聞
掲載記事 →

地元住民に教えられる機会が、めいも遊びを楽しむ子どもたち。21日、合志市

係なく遊ぶUD(ユニバーサルデザイン)・スポーツや、めんごお玉など昔ながらの遊びを楽しんだ。車のレースゲームのeスポーツに挑戦した同小5年の杉浦洋太くんは「地域のひとと対戦して楽しかった」と話した。



合志市 ●地域住民と小中学生がスポーツなどで交流。21日、合志の西合志第一小で開く。合志コミュニティ地域づくり運営委員会が昨年に続いて開き、市社会福祉協議会が協力した。参加した35人は、年齢に関